

事業所名

にじいろスクエア・せとうち
児童発達支援センターひよこ

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

27日

法人（事業所）理念		●基本理念「地域と共に生きる」 ●基本方針「利用者の尊重」、「良質のサービス」、「地域との連携」		
支援方針		<p>法人の基本理念および基本方針に基づき「児童発達支援センターひよこ」は、充実した施設と設備を備えた児童発達支援センターです。本センターは「自立的な活動と自立的な生き方」の実現をミッションに掲げ、次の5つの領域に重点を置き療育を行います「1. 健康・生活、2. 運動・感覚、3. 認知・行動、4. 言語コミュニケーション、5. 人間関係・社会性」。これらの領域を通じて、将来自立した生活ができるための基盤づくりを行い、利用児が個々の可能性を最大限に発揮できるよう支援します。</p> <p>なお、本センターには2つのクラスがあり、それぞれの支援方針は次の通りです。</p> <p>1. 「毎日通園クラス」生活リズムの安定や基本的生活習慣の獲得、様々な遊びや活動を経験し、好きな事や楽しめる事を通して人との関わりや社会性の基盤をつくります。進学に向けて必要なルール・マナーなどを学びます。</p> <p>2. 「並行通園クラス」週1～2回の通園を通じ、小集団での療育を通じ、基本的生活習慣の積み上げや社会性スキルの向上、自己肯定感を高める事や自己認知の力を育てます。小集団の中で自信をつけることによって、所属園の大きな集団でも力を発揮できるよう支援します。</p>		
営業時間		<p>8時30分から17時15分 <サービス提供時間> 毎日通園…9時から13時30分 並行通園…年少・年中 9時から11時 年長 13時30分から15時30分</p>	<p>令和8年度より <毎日通園> 9:00～14:00 <並行通園> 9:00～11:00</p>	<p>送迎実施の有無</p> <p>あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> ※ 保護者都合により相談の上、家庭と事業所間による送迎を行う場合があります</p>
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<p>1. 健康習慣の習得：毎日一人ひとりの健康状態を把握し、環境・衛生面に留意します。（体温・体調の確認、手洗い・手指消毒、水分補給、室温や衣服の調整など）</p> <p>2. 健康管理：月に一度、身体測定を行い成長進捗を確認します。年に2回、嘱託医による健康診断を行います。（毎日通園クラスのみ）</p> <p>3. 生活：生活習慣の獲得・積み上げを行います。</p> <p>①給食：管理栄養士、栄養士、調理員と連携し、栄養バランスを考慮した給食の提供を行います。おやつは市販の菓子類を提供します。</p> <p>②衣服や靴の着脱スキルの向上。排泄の状況を確認し、本人の発達段階に応じたトイレトレーニングを行います。</p> <p>③本人や家庭の状況に応じて午睡を行います。</p> <p>④生活あそび…調理実習、植物の水やり、お掃除ごっこ、お当番活動など</p>		
	運動・感覚	<p>1. 運動・感覚：トランポリンやスイング等の大型遊具、中庭での鉄棒やプール等の活動を通じ身体バランス、協応動作、姿勢の保持などの発達を促します。</p> <p>①感覚あそび…水あそび、プール、砂場、粘土、スライム、パラバルーン、シーツブランコ、バランスボール、スノーズレンなど</p> <p>②微細運動…クレヨン・のり・はさみ等を使った季節の製作、運筆、ビーズ・クリップ・トング・箸を使った遊びなど</p> <p>③粗大運動…リトミック、大型トランポリン、スイング、クライミング、サーキット、乗り物・ボール・縄跳びなど</p>		
	認知・行動	<p>1. 認知面では、太田ステージ評価により、認知発達面でのアプローチを行います。</p> <p>①本人の発達段階に応じた認知課題の提供を行います。（集団、個別）</p> <p>2. 行動面では、視覚的なスケジュールの提示により、何をどうするのか、いつ終わるのか、次に何があるのかなど見通しを持って自分で行動できるよう支援します。</p> <p>②タイムタイマーの使用や気になるものが多すぎない環境設定などにより、次の活動に切り替えやすいよう支援します。</p>		
	言語 コミュニケーション	<p>1. 言語面：太田ステージ評価による領域ごとの言語アプローチにより、やりとりの方法を学びます。</p> <p>2. コミュニケーション：基礎的なあいさつや要求表現など言葉・言葉以外のコミュニケーション（身振りや絵カード・文字・写真・具体物など）で思いを伝えられるよう支援します。</p>		
	人間関係 社会性	<p>1. 人間関係：様々な遊びや活動を通じ、人と関わることの安心感や楽しさを知る経験を重ねていきます。</p> <p>2. 社会性：自分の気持ち、相手の気持ちに気づけるよう支援します。次の集団に移行した時に必要なルール・マナー等を学びます。</p>		

事業所名

にじいるスクエア・せとうち
児童発達支援センターひよこ

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

27日

家族支援	1. 子育ての困りや悩みへの相談援助を行います。子どもの発達特性による課題の気づきに向けての支援。こどもの成長への共感と次の課題の確認。 2. 支援場面を見てもらうことで学びの機会を提供。 3. 特性理解や就学に関する勉強会の実施。 (親子療育、家庭訪問、個別面談、保護者座談会、保護者カフェ、保護者勉強会、わくわく広場など)	移行支援	1. 毎日通園クラスの児童における地域園への移行を支援。 2. 卒園後の学校就学時における移行支援。 (保育園/幼稚園/学校/放課後等デイサービスなどとの情報提供や情報共有、ケース会議への参加、園・学校見学の同行など) 3. 保育所等訪問支援事業によるフォローアップ
地域支援・地域連携	1. こどもに関わる地域の関係者/関係機関との連携(保健・医療・福祉・教育) 2. 相談支援事業所との連携	職員の質の向上	1. 職員研修: 大学教員専門による研修の実施 2. 外部研修会(TEACCHプログラム等)への参加 3. 定期的なケース検討会議の実施
主な行事等	1. 毎日通園クラス ①季節に応じた行事(入園式、水遊び・プール、七夕会、運動発表会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、お正月あそび、豆まき会、ひなまつり会、おわかれ会、卒園式など) ②親子療育(年3~4回)、家庭訪問(年1回)、健康診断(年2回) 2. 並行通園クラス・修了式(年長児のみ) 3. その他共通・火災避難訓練(毎月)・防災訓練(水害、地震等)・個人懇談		